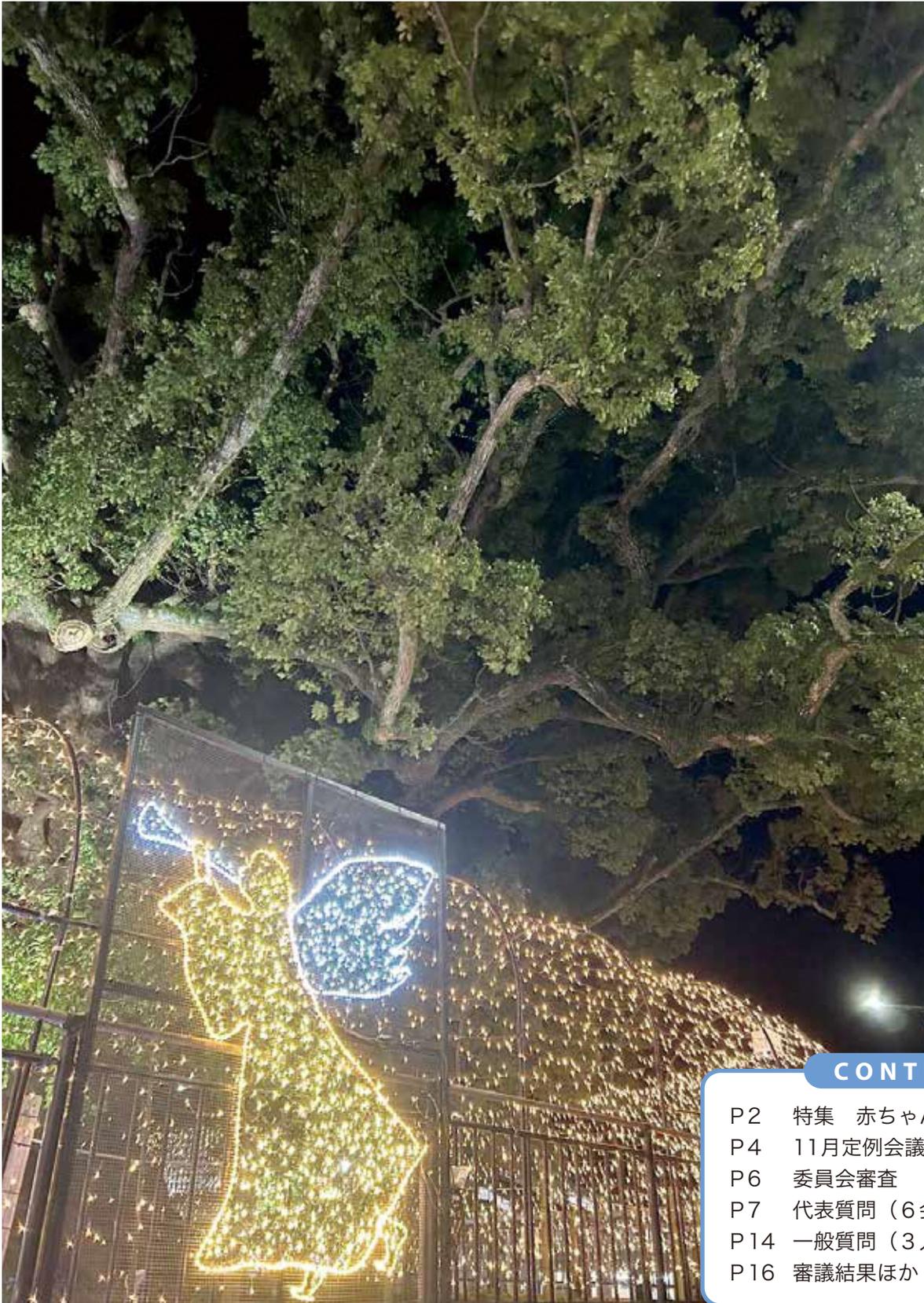


いわた羅針盤

ら しん ばん



特集

〜地域で支える優しい子育て〜
赤ちゃんとお母さんの味方

CONTENTS

- P2 特集 赤ちゃんとお母さんの味方
- P4 11月定例会議案審議
- P6 委員会審査
- P7 代表質問（6会派）
- P14 一般質問（3人）
- P16 審議結果ほか

特集 赤ちゃんとお母さんの味方 ～地域で支える優しい子育て～

市議会民生教育委員会では、子育て支援についてをテーマとして調査を行い、助産師会の取組について取り上げました。今回の特集は、地域で活躍をされている静岡県助産師会の活動と出産に対する支援や、地域の活動、出産経験からの妊婦さんへのアドバイスなどをお聴きしました。
(取材日:令和6年12月20日)(聞き手:市議会民生教育委員会 鳥居節夫委員長 鈴木正人副委員長)



一般社団法人 静岡県助産師会
会長
伊藤 和代さん



一般社団法人 静岡県助産師会
磐田地区会長
熊谷 千博さん



一般社団法人 静岡県助産師会
磐田地区防災担当
深田 祐子さん

— どのような活動をされていますか。 —

熊谷 助産師会の磐田地区は、現在17名の会員がいます。病院やクリニック、教育機関に勤務する助産師、それ以外にも出産に加え、母乳外来や育児相談などを行い開業している助産師もいます。その方たちと横のつながりを持ちながら、助産師会の定例会やお互い情報交換を行っています。

深田 助産師会の磐田地区防災を担当しており、いわた減災ネットワーク連絡会に所属していて、他の団体と協力して減災活動をしています。6年度から磐田市災害時医療救護対策委員会に助産師会としても参加しています。医療救護に助産師の力として、協力体制をつくり、母子の安全に向けて、災害時にも生かしていきたいと考えています。

伊藤 市からの委託で、「赤ちゃん訪問」などを行い、子どもや就学前の子どもを育てている親の性教育などの考えについての講話を活動として広げています。

— 助産経験からの妊婦さんへのアドバイスはありますか。 —

伊藤 性教育について、小学校1年生から毎年違う内容で少しずつステップアップした話を、子どもたちが生活の一部として学べるようになるのいいと考えています。また、性教育というとすごくインパクトが大きいので、子どもたちがより理解して将来について考えてもらえるのいいと思います。

熊谷 妊婦さんにとって一緒に寄り添ってもらえる人の存在はとっても大きいと思います。御家族はもちろんのこと、困ったことがあれば助産師や医療機関の方に相談しながら、心から妊娠生活、十月十日

日を楽しんでもらえたらいいなと思います。

深田 妊娠期間中に出産に向けて心と体の準備をしっかりと、満足のいくお産をすると、子育てのときのスムーズなスタートが切れると思います。ぜひ妊娠が分かった時点からの期間を楽しんでほしいと思います。

— 課題と感じていることはありますか。 —

伊藤 産後ケア券による通所と訪問回数を増やしてほしいです。トラブルを起こす方や悩んで来られる方も多いので、あと3回くらい増えるのいいなと思っています。

深田 子育て支援のところで、助産師の相談会などを市の主導で実施していただけたらいいです。
— 市の子育て事業に必要と思うことはありますか。 —

伊藤 支援員を利用できる期間や時間は限られていますが、訪問したときに、サポート案内ができるというのは他の市にはなく、充実していると思います。

熊谷 親の悩みはその時々で変わるとは思いますが、その時々でいろんな方に支えていただいています。子育ての悩みや必要なサポートもそれぞれ違って、それがいるんな

場につながっていく磐田市はとてもすてきだと思います。

深田 核家族が進んで出産年齢も高くなってきているので、産後のケアのときに手伝ってもらえる家族が近くにいない、育児の知恵も教えて下さる方も減っています。一人の赤ちゃんに対して育児の経験など、いろいろな知恵を、みんなが赤ちゃんと注いであげられるような環境をつくっていくことが、とても大切だと思います。その中で地域の助産師が伝承していけるといいと思います。

— 取材を通して、助産師の活躍を身近に感じる事ができました。地域活動や今後起こりうる災害などに対し、助産師会の活動は重要であると、改めて感じました。今後、民生教育委員会でも取材を通じて把握した課題について、取り組んでいきたいと思っています。



いわた子育て応援サイト



@IWATA_ZYOSANSHIKAI

「いわた子育て応援サイト」では、産後ケアなど子育て情報を発信しています。

「磐田地区助産師会」ではInstagramで情報を発信しています。



静岡県助産師会から資料提供

11月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。



磐田市議会 配信 検索

議案審議

令和6年11月定例会
会期 11月25日～12月23日 (29日間)

一般会計補正予算(第11号)などを審議

11月定例会では、市長提出の6年度一般会計補正予算(第11号)など一般議案19件、人事議案1件を審議しました。
なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記(人数)
※6年12月23日現在

「志」	志政会(8)
「せ」	せいわ会(6)
「新」	新磐田(3)
「共」	日本共産党磐田市議団(2)
「公」	公明党磐田(2)
「創」	市民と創る磐田(2)
「愛」	愛和(1)
「力」	磐田の底力(1)

議案第86号

6年度一般会計補正予算(第11号)

全会一致で可決

この補正予算は、一般会計補正予算第10号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ12億2267万7千円を追加し、総額を779億532万6千円とするものです。

補正予算の主な内容

- 民間認可保育園等の施設整備に対する補助金の増額
- 公定価格の上昇に伴う民間認可保育園等に対する給付費の増額
- 人事院勧告に準じた給与改定及び人事異動に伴う人件費の補正
- 事業の早期着手・早期完了や契約・準備期間の確保のための債務負担行為の追加



本会議での主な質疑

問 就学援助費認定者数の増加見込みによる扶助費の増額とあるが、何人の増加を見込んでいるのか。また、その要因は。

答 当初は必要保護者数を740人と見込んでいたが、追加申請の状況から762人になると想定している。増加の要因は、物価上昇等により、子育て世帯の家計が深刻化してきたと考える。

問 道路の新設改良及び排水路の改修を債務負担行為で行う場所と、早期着手・早期完了を図る理由は。

答 地元自治会からの要望箇所を対象とし、道路の新設改良工事を8か所、排水路改修工事を3か所予定している。早期着手・早期完了を図る理由は、事業効果の早期発現と工事の平準化を図るためである。

討論がありました

賛成

個人情報保護し安心と信頼を
補正予算の債務負担行為による新たな情報システム導入にあたっては、デジタル化と対面サービスの拡充を図る必要性と、個人情報を保護し安心と信頼が確保され地方自治の原則が貫かれることを求め、賛成する。
日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成

重要な内容の補正予算

今回の補正予算は、民間認可保育園等の施設整備に対する補助金の増額や人事院勧告に準じた給与改定等に伴う人件費の補正、電子計算機運営事業や海岸堤防の整備事業での債務負担行為など、重要なものと確認できたので賛成する。
公明党磐田 江塚 学 議員

議案第90号

6年度病院事業会計補正予算(第2号)

全会一致で可決

この補正予算は、収益的支出を5億1916万4千円増額し、212億8182万5千円に、資本的収入を12億750万9千円減額し、15億3886万6千円に、資本的支出を12億9千万円減額し、24億6290万9千円とするものです。
また、内視鏡センター施設整備事業の継続費14億6500万円を6年度から8年度までの3年間で設定するものです。

補正予算の主な内容

- 人事院勧告等に伴う給与費の増額
- 内視鏡センター施設整備事業の期間延長に伴う工事費並びに企業債及び一般会計出資金の減額
- 太陽光発電設備設置事業の中止に伴う補助金及び工事費の減額
- 内視鏡センター施設整備事業の継続費14億6500万円を6年度から8年度までの3年間に設定

本会議での主な質疑

問 太陽光発電設備設置事業で、国の補助金が不採択であった理由は。

答 不採択の理由は明示されていないが、申請数が想定以上であり、国は予算を有効活用する観点からできる限り採択件数を増やすため、計画策定などの採択を優先したことから、本市の申請は不採択となったと推測する。



磐田市立総合病院
内視鏡センターの鳥観図

答 基本設計の段階で診察室等の大きさや2階外来待合スペースの位置、患者の安全及び職員の効率的な動線などを考慮した配置にするために時間を要し、5年度内に完了しなかったため工期延長となった。今後の予定は、7年1月に実施設計完了、2月に工事入札、仮契約、3月に工事着手し、8年6月完成を予定している。患者さんへのより良い環境での医療提供や今後の物価高騰を考慮し、できるだけ早期に進めていきたい。

議案第96号

放課後児童クラブ条例の一部改正

賛成多数で可決

これは、放課後児童クラブのサービス拡充を目的として、7年度から事業の一部を民間委託するために条例の一部を改正するものです。

改正の主な内容

- 第3条に、「事業の実施主体等」を加え、事業の全部又は一部を適切な事業者が委託可能とする規定を追加
- 第4条、開所時間の改正
- 第10条、利用料等の改正

本会議での主な質疑

問 民間委託された場合の職員の処遇は。

答 雇用形態が民間委託事業者の直接雇用になり替わることになり、雇用条件が現状を下回ることはないこととしている。

問 利用者の声を含めた改正に至る経緯と、期待される効果は。

答 利用者から、開所時間延長、祝日開所や長期休業期間の昼食提供など様々な御意見等が寄せられた中、ニーズに対応し利用しやすい環境を整えるには、様々なノウハウを持つ民間事業者に運営を委託することで実現が可能だと考える。

討論がありました

反対

委託化は行政責任の後退
現場で労働にあたる職員を市が確保しないと、市民や現場の声を施策に反映できない。民間委託化によって行政の責任や力量が後退する。職員力を生かして公立公営の特色ある事業を求めます。
日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

賛成

将来を見据えた安定的な運営

公的責任の後退ではなく、支援員の確保や保育の資質向上など、これまでの運営課題について改善を図り、利用者の期待に応えるために、民間活力の活用のため、委託は必要と考える。
せいわ会 鈴木正人 議員

代表質問・一般質問

(6会派)

(3人)

要旨

代表質問とは？

会派(所属議員が2人以上)を代表した議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し行う質問を代表質問といい、本市議会では、11月定例会で行われます。

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

代表質問・一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

会派紹介

令和6年12月23日現在

志政会 8人



永田隆幸 寺田幹根 小池和広 小柳貴臣
岡 實 秋山勝則 八木義弘 鳥居節夫

せいわ会 6人



小栗宏之 本間昭男 平田直巳
鈴木正人 戸塚邦彦 加藤公人

新磐田 3人



芥川栄人 加藤文重 松野正比呂

日本共産党磐田市議団 2人



高梨俊弘 根津康広

公明党磐田 2人



鈴木喜文 江塚 学

市民と創る磐田 2人



鈴木弥栄子 山下千賀子

愛和 1人



芦川和美

磐田の底力 1人



柏木 健

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

総務委員会

■委員長：小柳貴臣
■副委員長：江塚 学

■委員：平田直巳、秋山勝則、小栗宏之、芥川栄人、松野正比呂、高梨俊弘

問 定年延長職員は、現在の

答 7年度からの市職員の定数を、消防職員にあっては40人増の250人、病院事業企業職員にあっては30人増の910人とするもの

問 消防職員の増員計画と消防力維持の取組は。

答 毎年5人程度の職員を採用していくと、定年延長職員を含めて、19年度の250人がピークになると見込んでいます。現状では、救急対応にありと20人は必要と計算しており、まずは230人を中途に増員を始める。その後は、災害対応や救急件数などの動向を見ながら計画的に増員を進めたい。条例上の定数を増やさないと新規採用ができなくなり、消防技術の伝承や消防力の維持が難しくなるが、定年延長職員も職域を考慮して現場で活動していくことにより、消防力は維持できるものと考えている。

問 病院職員の定数における

答 6年度の人事院勧告に基づく国家公務員の改定に準じて、市職員の給料表や期末手当等の支給割合を改正するもの

問 会計年度任用職員に関する職員組合からの要望は。

答 会計年度任用職員については、適切な処遇改善と業務管理で、人材確保に努めてほしいとの要望があり、市当局からは、民間との均衡に配慮して適切な処遇改善を行い、人材確保に努めていると回答した。

問 条例定数に入っており、それは別枠で30人を確保したいと考えている。

答 条例定数に入っており、それは別枠で30人を確保したいと考えている。



職員の給与に関する条例の一部改正

議案の内容

6年度の人事院勧告に基づく国家公務員の改定に準じて、市職員の給料表や期末手当等の支給割合を改正するもの

会計年度任用職員に関する職員組合からの要望は。

会計年度任用職員については、適切な処遇改善と業務管理で、人材確保に努めてほしいとの要望があり、市当局からは、民間との均衡に配慮して適切な処遇改善を行い、人材確保に努めていると回答した。

民生教育委員会

■委員長：鳥居節夫
■副委員長：鈴木正人

■委員：本間昭男、山下千賀子、永田隆幸、芦川和美、根津康広、岡 實

問 寄附以外の基金の積立は。現時点では、寄附を主な財源としているが、今後の取組によっては、寄附金以外も想定をし、改めて地域クラブ活動への一般会計などの公的支援の在り方、受益者負担について引き続き協議が必要と考えている。

答 地域クラブ活動 SPO☆CUL I WATAの活動には、参加費、活動費などの受益者負担が生じており、その財政的支援を考えている。

問 地域クラブ活動の支援と

答 地域クラブ活動 SPO☆CUL I WATAの参加費等について、今後の活動を見据え、生徒の活動機会が失われることがないよう、費用負担の軽減を図っていく必要があり、活動財源の安定的な確保に向けて、新たに磐田市地域クラブ活動支援基金を設置する条例を制定するもの

問 長期休業期間中の昼食提供は。

答 民間委託後は、事業者が独自で昼食提供の業者に委託をし、現時点で一食当たり500円の均一料金で提供を考えている。



磐田市の将来と行政運営について／魅力ある磐田市を目指して／これからの磐田市の教育／磐田市の課題



新磐田 質問者 芥川 栄 人 議員



磐田市の将来と行政運営

問 新年度予算で新たに取組まれる事業、拡充・縮小する事業は。また、縮小・廃止した事業の見える化による市民への公表についての見解は。

答 新規拡充や縮小施策は、予算編成過程で検討している。財源や人的資源には限りがあり、事業の見直しや整理、優先順位の設定を意識して作業を進めている。市民への公表については、縮小や廃止する事業により新たに取組める事業もあるため、行財政改革の取組の一環として公表の仕方について検討していきたい。



問 交通事故、事件、詐欺等に対応できる警察関係者の配置についての市の見解は。

答 災害発生時や大規模イベント開催時における警察との連絡調整、カスタマーハラスメント対策においても外部人材の活用は有効と考え、現在検討している。

問 高齢者の健康づくり支援を寄り添い型支援に一層進めるため、長寿祝い金等の見直し等による推進への見解は。

答 長寿祝い金等事業について、市民の声を聴いたうえで、より良い高齢者施策の在り方となるよう検討していきたい。



魅力ある磐田市を目指して

問 教育委員会のハード・ソフト政策が一体となった政策指針の見える化への見解は。

答 公表する資料として「磐田の教育」があるが、教職員や行政職員向けの冊子であったため、市民向けに新たに学校教育施策に関するデジタル冊子を作成し、ホームページで発信を始めている。

問 (仮称)不登校総合対策計画での到達目標と、施策を共有できるようにすべきと考えるが、見解は。

答 学校、保護者、市民と共有できるように、従来の支援施策を整理し、不登校総合支援計画を策定している。全ての子どもが自分に合った学びや居場所につながることでできる環境づくりを目指し、どこにもつながらない子どもをゼロにしたい思いの中で、いろいろ施策を進めていきたい。



これからの磐田市の教育

令和7年度予算編成と行政の諸施策について



公明党磐田 質問者 江塚 学 議員



問 次期市長選挙への対応は。来春の市長選挙に再度立候補することを、正式に表明する。次の世代が将来に希望が持てる、持続可能な「安心できるまち・人が集まる磐田市」の実現に向けて全力で取り組む決意である。

問 小中学校の給食費を市独自で、保護者負担分を軽減または無償化していく考えは。

答 7年度からの実施は、財源確保などの課題があるため考えていないが、急激な物価高騰により食料費の確保が困難になった場合や、栄養摂取基準が満たされない場合には、公費負担を検討していく。



問 補助金について、昨今の人件費上昇分や物価高騰分を上乗せ支援していく考えは。

答 団体等とのヒアリングを通して、必要と認められた場合は増額も検討していくが、市からの補助金以外の財源確保や内容の工夫など、自立的な実施方法の検討を優先し、他の団体や企業等との共創による活動を期待したい。



問 奨学金返済への補助金交付の対象を拡大し、定住につなげる考えは。

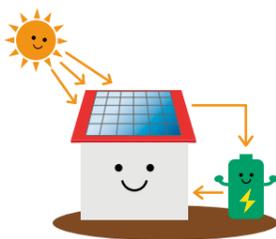
答 現在のところ、Uターン就職以外に対象を拡大する考えはないが、企業や大学などへの情報収集を行った上で、さらなる対象者の拡充の研究・検討を行っていきたい。

問 市施設における再生可能エネルギー導入の考えは。

答 現在建設中の施設や、建設予定がある施設を中心に太陽光発電を導入していきたい。現在、市クリーンセンターの焼却炉から発生する熱を利用したバイオマス発電を実施しているが、加えて、下水道浄化施設の設備においても、導入が可能であるか継続した調査・研究をしている。

問 市制20周年記念行事の計画は。

答 市民と共に祝い、一体感や地域への関心・愛着の醸成を図れるよう、記憶に残る記念の年にしたい。また、市民団体等が主催する事業を冠事業として広く募集し、その開催に当たり、支援できることを検討していきたい。



議会豆知識



市議会議員
4年ごとの選挙によって市民から選ばれた「市民の代表者」。本市議会議員の定数は条例で26人としています。

議長・副議長
議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。
議長は議会の代表者として、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。
副議長は、議長が不在のときや欠けたときに、議長の代わりに職務を行います。

会派
市政に対する同じ意見や考え方をもち、議員が集まり結成された団体のことです。
※現在の会派は7ペー
ジのとおりです。



議会豆知識



本会議
議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行う会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的にはすべて本会議において決められます。本市議会では、2月・6月・9月・11月に開会する定例会と、必要なときに開かれる臨時会があります。

議会運営委員会
円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・調整を図る会議です。

常任委員会
条例で任意に設置することができ、市の事務に関する調査を行い、議案等を審査します。本市議会では総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会の5つの常任委員会があります。

特別委員会
複数の常任委員会にまたがる事項や特に重要な事項等を審査するために、議会の議決に基づき設けられます。

市政運営の検証と新年度予算について 持続可能な磐田市に向けて／笑顔あふれる磐田市へ



志政会 質問者 秋山勝則 議員



持続可能な磐田市に向けて

問 今後の財政運営と政策推進についての考えは。

答 事業の精査、効率化、国・県支出金の確保に加え、民間との共創を意識し、新たな財源確保につなげる。また公共施設やインフラの維持整備は合併特例債に代わるほかの事業債を積極的に活用した財政運営を検討していく。

問 酷暑をはじめとする気候変動への対応のうち、学校体育施設等の空調設備や学校プールの整備方針は。

答 空調設備は、先進地視察により、設置方法や実際の体感温度を確認するなど、体育館に適切な空調方式を検討し、早期に着手していきたい。学校プールの整備は、修繕を継続しながら、モデル事業で屋内プールの活用効果を検証する準備を進めている。

問 水災害対策プランの早期実現のための取組は。

答 調整池の整備、雨水ポンプ場の増強や河川堤防かさ上げ工事の実施など、準備が整った箇所から順次事業を推

市民の命・暮らしを守る新年度予算編成について 教育の諸課題／平和事業の推進について



日本共産党磐田市議団 質問者 高梨俊弘 議員



市民の命・暮らしを守る 新年度予算編成

問 7年度の市税収入の見込み、財政調整基金の見込みと活用方法は。

答 法人市民税は若干の減額、個人市民税は増額、市税全体では、増額を見込んでいる。財政調整基金は、残額が40億円を下回らないを目標に、頻発する自然災害や予期せぬ経済変動等に活用していきたい。

問 水災害対策プランの7年度の実施事業と課題は。

答 7年度の予算要求に向けて、国や県、関係各課と調整中だが、短期対策の事業は、10年以内に完了させるよう進めていく。課題は、予算の確保や、あらゆる関係者が理解し合い、ともに浸水対策に取り組むことと考える。



問 旧市民文化会館等跡地に関する調査の目的と内容及び市民の意見・要望の反映は。

答 調査の目的は、民間事業者からアイデアを募り、利活用の可能性を把握・整理するためである。内容は、事業化の可能性や手法等を対話形式で伺っていく。市民の意見の反映については、対話を丁寧に行いながら反映できるものは方針策定に取り入れていきたい。



教育の諸課題

問 学校給食は教育の一環である。市独自で給食費無償化の検討も必要と考える。見解は。

答 財源確保等の課題があり現時点では考えていないが、物価高騰により食料費確保が困難になった場合は、支援

の方法を検討していきたい。

問 生徒・教員の熱中症を防止で安全を守るために、体育館への空調設備の設置を。

答 先進地視察により設置方法や体感温度の確認をするなど、体育館への適切な空調方式を検討している。災害時には避難所として活用することから、早期に着手したい。

平和事業の推進

問 7年は、戦後80年の節目の年、平和を祈念する取組を市民とともに行う考えは。

答 講演会や企画展等の開催を通じて、本市での出来事の紹介等、市民に改めて平和の尊さを考える機会を設けたい。



問 中小企業の人材確保、農業の担い手確保の取組は。

答 中小企業の人材確保は、海外人材確保の機会創出についても調査研究していく。農業の担い手は、小規模就農制度などを活用した多様な担い手の確保、特産品継承事業の品目拡充を検討していく。

問 人口維持・増加政策にもつながる地元就職強化や若年女性層の雇用強化の取組は。

答 求職者のニーズに応じた企業とのマッチング機会の拡充を図り、多様な人材の働き方の支援を推進していく。



問 保育ニーズへの対応と、今後の方針は。

答 7年度から公立幼稚園型認定こども園において、幼稚園枠を減らし、保育園枠を増やす予定である。また、磐田北幼稚園と磐田南幼稚園は、8年度からのこども園化を検討する。大藤こども園と向笠幼稚園は、9年度からの統合に向けて検討する。

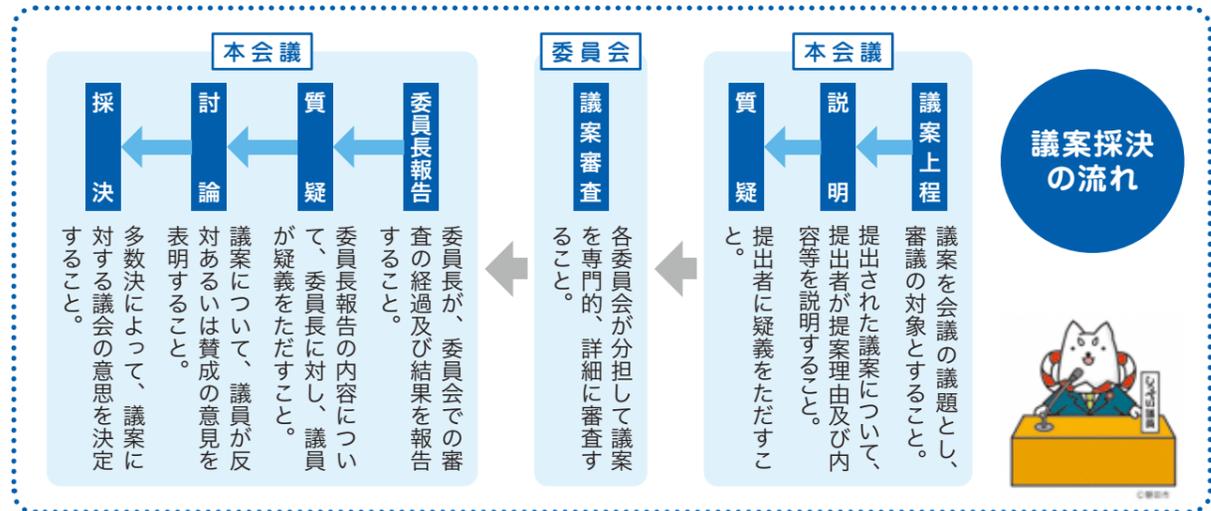
問 公立認定こども園の預かり保育における長期休業中の給食提供は。

答 7年度から長期休業中の給食提供を開始したい。

問 2050年のゼロカーボンシティに向けた本市の短期的取組は。

答 市民の意識啓発を図るため、環境学習や節電促進キャンペーンなどを実施し、中小企業等に向けては、市内金融機関と連携して、経営の脱炭素化支援を行っている。また、市民や事業者との共創により、環境価値を創出するカーボンクレジット制度の活用に向けて準備を進めている。

議案採決の流れ



行政運営について／危機管理について／ いわた茶の振興について／行政の諸課題について



せいわ会 質問者 戸塚 邦彦 議員



行政運営

問 草地市長の任期4年間で
の市長自身の自己評価は。

答 行政や市民、または市民
同士による今後の課題の共有
や、共創でまちづくりを進め
ていくための環境づくりが
整ってきていると感じている。
まだ道半ばのものもあるが、
安心できるまち・人が集まる
磐田市の実現に向けて、対話
を丁寧に重ねながら着実に歩
みを進めることができたと思
えている。

問 7年度予算編成のうち、
歳入の見通しは。

答 市税収入は増額、地方交
付税や臨時財政対策債は減額、
国・県支出金は増額を見込ん
でいる。

問 中期財政見通しのうち、
市税の見通しは。

答 5年度決算と6年度当初
課税をベースに、近年の課税
物件の増減傾向や、経済状況
及び人口減少などの影響を考
慮して試算しており、目標値
ではない。

問 副市長二人体制の考えは。
答 市が取り組むべき行政課



題が増える中、効果的な役割
分担等によって、市政運営の
強化を図ることや、外部との
つながり、専門的知識の活用
などが期待されることから、
必要な政策の一つと考え、研
究を続けてきた。現時点では、
結論が出ていないため、引き
続き検討していくが、経済の
専門家の登用は考えていない。

危機管理

問 水災害対策プランの策定
経過は。

答 流域治水の考え方に基
づき、県と市の関係部署がハ
ード・ソフト対策、それぞれに
ついて考え得る施策を幅広く
提案するという方針の下、市
民の声を聞きながらプランを
策定した。なお、プランの対
象洪水は4年9月の台風第15
号の降雨を用いて、氾濫シ
ミュレーションにより減災効
果を検証している。

問 無電柱化による緊急輸送
路の確保は。

答 道路の新設や改築の際に、
無電柱化を取り入れた整備の
必要性について検討していく。
本市が管理する道路で新たに
実施する場合は、県の計画に
追加して整備を行っていく。

いわた茶の振興

問 海外展開と販路拡大への
取組状況は。

答 海外展開は一つの大きな
手段である。6年8月には、
タイの大手スーパーとのビジ



行政の諸課題

問 旧市民文化会館等跡地の
利活用は。

答 様々な検討を経た結果、
民間事業者との共創により、
跡地の利活用を進めていくた
めサウンディング調査を行い、
事業化に向け、あらゆる可能
性について把握、整理してい
く。調査結果を基に、7年度
には市民から意見をいただき、
方針決定後、地元への説明を
実施していきたい。

みんなを守る磐田の防災について／ 不登校対策の充実について



市民と創る磐田 質問者 鈴木 弥栄子 議員



みんなを守る磐田の防災

問 原子力防災に関する説明
会と訓練の実施は。

答 原子力災害に対する市民
の理解と意識の向上が重要と
認識しており、原子力災害対
策を分かりやすく解説した原
子力災害避難ガイドブックを
6年度作成している。完成後
全戸配布する予定で、市民の
理解が進んだ上で説明会や避
難訓練の実施を検討していく。

問 本市でも、原子力施設で
全ての交流電源を失い住民に
放射線による影響が生じる可
能性がある場合は妊婦や乳幼
児などを優先的に避難させる
必要があると考える。見解は。

答 避難のタイミングは国か
らの指示に基づき実施される
ため、本市独自に避難基準を
設定することは考えていない。



問 安定ヨウ素剤の配布場所
と配布方法、事前配布は。

答 避難経路途上の救護所に
おいて、医療関係者や職員に
よる配布を想定している。今
後も事前配布も含めた配布方
法や備蓄場所を検討していく。
救護所としたのは、県外への
避難途中で配布がしやすいこ
とと、医療職を含めたスタッ
フが動員しやすいからである。



不登校対策の充実

問 不登校児童生徒への対応
の具体的な達成目標とロード
マップの作成は。

答 従来の支援施策を整理し
て不登校総合支援計画を作成
しており、計画に達成目標や
ロードマップを含めることを
想定している。

問 図書館など公的機関と連
携した居場所をつくることも
必要と考える。見解は。

答 多様な選択肢の一つとし
て意義のあることだと考える。
今後、図書館との連携を含め
た多様な居場所の可能性を検
討していきたい。

問 社会や企業に対し、不登
校児童生徒とその保護者への
理解を進め、保護者が仕事を
継続できるような働きかけが
必要と考える。見解は。

答 不登校支援に関する理解
を広げるとともに、社会や企
業に対し、困っている保護者
がいるという実態を共有する
方を研究していきたい。



市議会の役割



議決

市政を進めていく上で重要な事項について
は、市議会の決定が必要です。これを「議決」
といいます。市議会が議決する主なものは次
のとおりです。

- ・ 条例を定めたり、改正したりすること
- ・ 予算を決めること
- ・ 決算を認めること
- ・ 市の税金、使用料、手数料などを決めること
- ・ 工事や不動産の売買などの重要な契約を認
めること

選挙・同意

議長、副議長、選挙管理委員などを選挙し
たり、市長が副市長・教育委員・監査委員
などを選任する際に、同意を与えます。

検査・調査・監査請求

市政が正しく運営されているかどうか、市
の事務に関する書類を検査したり、関係者の
出席・証言、記録の提出を求めたり、監査委
員に監査するよう求め、市民の代表として市
政を監視します。

意見書の提出

市議会の意思として、国会や関係行政機関
に意見書を提出し、市民生活にかかわりのあ
る問題点について積極的な解決を求めていき
ます。

学校施設の考え方について／重層的支援について



問 答

せいわ会 平田直巳 議員



学校施設の考え方

問 竜洋西小学校のプール故障の修理費、建替え費用は。

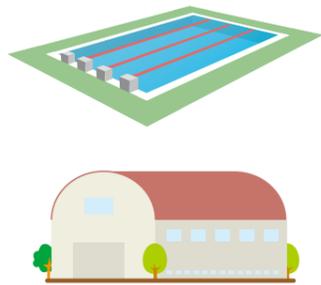
答 本体の破断修繕8000万円、表面塗替え工事3000万円、給排水ポンプの過器修繕で2000万円を見込んでいます。建替えの場合は4億円程度と試算している。

問 今後の学校プールの未来像の検討内容と進捗状況は。

答 施設の老朽化以外にも、年間を通じた施設管理や水質管理など教員の負担を減らす視点も踏まえ、天候に左右されず、安全かつ安定した体育授業を行うため、市内の屋内プールへの移行を進めていきたい。このため、7年度に中学校1校、小学校1校で屋内プールを使用したモデル授業を行う準備を進めている。

問 学校体育館等への可搬式冷風機等の設置の考えは。

答 常設型で大規模工事が必要ない機種を検討しており、温度成層空調型で、体育館の壁面等に設置して熱交換を行うタイプを想定している。



重層的支援

問 重層的支援体制整備への取組状況は。

答 支援体制は必要と認識しており、今後、講師を招いて体制整備事業の勉強会を開催した上で、現状の取組の整理や評価を行い、市が目指すべき支援体制の方向性を部局横断的に決定したい。

問 重層的支援のために重要となる、行政と地域との連携の具体的な検討内容は。

答 分野・制度ごとの縦割りや、支え手・受け手という関係性を超えて、地域住民などが参画し、生きがいや地域を共に創る地域共生社会の実現のための体制整備を進めていく。今後、企業や地域の皆さんと共創していきたい。

「ゼロカーボンシティいわた」の取組と諸課題について／市政の諸課題と市民要望の対応について



問 答

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員



市政の諸課題と市民要望

問 介護報酬引下げによる訪問介護事業所への影響調査の結果と今後の対応は。

答 9事業所において経営状況への影響はあるものの、現時点では事業継続に影響を及ぼす深刻な状況ではないと確認した。相談対応の強化やICTの活用など業務の効率化に係る情報提供等に取り組み、引き続き事業所との連携を密にしていきたい。

問 健康保険証の新規発行が停止され、マイナ保険証に一本化されたが、紙の保険証の存続を求める市民の声が多くある。国に対して見直し・改善を求めるべきではないか。また、市の今後の対応は。

答 若者の学べる環境を整えるため、市独自の給付型奨学金制度を創設する考えは。

答 若者向け支援策の一つと認識しており、先進事例の調査を含め、若者向け支援策全般の研究を進めていきたい。



答 マイナンバーカードの普及は、国民の利便性向上につながるかと考えており、引き続き国の動向を注視したい。マイナ保険証をお持ちでない方には資格確認書が交付されることなど、市民へは、丁寧な説明や周知をしていく。

問 低所得の高齢者世帯へのエアコン購入・設置費用の助成制度を設ける考えは。

答 現時点で制度を設ける考えはないが、県内外の自治体の事例を調査していく。

問 補聴器購入費助成制度の拡充策として、助成額上限3万円の拡充、耐用年数経過後の買換え費用の対象への追加、対象年齢の引き下げの考えは。

答 制度開始から5年が経過しようとしており、議員提案の事業内容も含め、検証すべきと認識している。

問 若者の学べる環境を整えるため、市独自の給付型奨学金制度を創設する考えは。

答 若者向け支援策の一つと認識しており、先進事例の調査を含め、若者向け支援策全般の研究を進めていきたい。

市の財政について／市の公共施設について



問 答

磐田の底力 柏木 健 議員



財政

問 物価高騰と予算の市の考えと契約時のリスクヘッジは。

答 総務省通知により、人件費等の最新の実勢価格等を踏まえた適切な予定価格の作成や、労務費等の実勢価格に係る、契約後の状況に応じた必要な契約変更の実施等が求められており、公共工事の契約では約款でインフレスライドに対応する条項を設けている。

問 ふるさと納税の寄附募集の改善点と、6年度の状況は。

答 返礼品の拡充を図るとともに、市内の観光宿泊施設での周知や大手メディアへの掲載など、様々な機会を捉えたPRを強化している。6年度の寄附の状況は、4月から10月までの寄附総額が約1億9800万円となっている。



問 旧市民文化会館等跡地利用の民間提案と、想定している施設の規模やイメージは。

答 今回実施する対話による利活用可能性調査は、あらゆる利活用の可能性やアイデアを民間事業者からいただく中で、今後の市としての方向性を決めていくものである。跡地に盛り込む機能やイメージ、売却や借地といった土地の契約形態などは現段階で決定しているものではなく、あらゆる可能性を検討していきたい。

問 総合スポーツ公園構想はジュビロ磐田との対話によると思われるが、ジュビロ磐田も使えるスタジアムの検討は。

答 これまでも本拠地を置くジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズを核としながら、スポーツのまちづくりを進めてきた検討に当たっては両クラブとの情報交換を積極的に行い、施設整備に関する要望を伺いながら、できる連携や支援の方法を検討していきたい。

公共施設

代表質問用語解説



- ※1 バイオマス発電 (P8)
- バイオマスとは、動植物などの生物からつくり出されるエネルギー資源のうち、石油などの化石燃料を除いたものです。それを直接燃焼したり、発酵させることで発生するメタンガスなどを燃焼したりすることでエネルギーを取り出す発電方法のことです。
- ※2 プラッシュアップ (P11)
- すでにある資料やアイデア、個人や団体の能力などを、さらに向上させてよいものにする事です。
- ※3 カーボンプレジット (P11)
- 主に企業間で温室効果ガスの排出削減量を売買できる仕組みのことです。企業は環境活動によって生まれた温室効果ガスの削減量や吸収量を数値化し、クレジットとして認証された排出権を他の企業と取引します。これにより、努力をしてもどうしても削減できない温室効果ガスの排出量を、カーボンプレジットを購入することで埋め合わせできるようになります。
- ※4 安定ヨウ素剤 (P12)
- 原子力災害が発生した時に配布される薬です。原子力発電所等の事故により飛散した放射性ヨウ素を体内に取り込むと、甲状腺に集積し、甲状腺がん等を発生させる可能性があります。このような放射性ヨウ素による内部被ばくは、「安定ヨウ素剤」を適切なタイミングで服用することで予防・低減することができます。
- ※5 甜茶 (P13)
- 緑茶の一種で、被覆資材で2〜3週間ほど日光を遮った茶園で摘み取った茶葉を蒸し、揉まずに甜茶炉で乾燥させて作られます。甜茶を茶臼などで粉末状にするつぶしたものが抹茶です。

審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 専決処分（6年度一般会計補正予算（第10号））
- (2) // （物損事故の和解）
- (3) 6年度一般会計補正予算（第11号）
- (4) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (5) // 水道事業会計補正予算（第1号）
- (6) // 下水道事業会計補正予算（第1号）
- (7) // 病院事業会計補正予算（第2号）
- (8) 地域クラブ活動支援基金条例の制定
- (9) 市長及び市議会議員選挙公報発行条例の一部改正
- (10) 支所設置条例の一部改正
- (11) 市職員定数条例の一部改正
- (12) 市職員退職手当支給条例の一部改正
- (13) 静岡地方税滞納整理機構規約の変更
- (14) 海岸防潮堤建設工事（第2工区）委託に関する契約変更
- (15) 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- (16) 特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例等の一部改正
- (17) 市職員の給与に関する条例の一部改正
- (18) 小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正
- (19) 人権擁護委員の候補者推薦

■その他

- (1) 市議会議員の派遣

■意見の分かれた議案

件名	会派名	志政会 8人	せいわ会 6人	新磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党磐田 2人	市民と 創る磐田 2人	愛和 1人	磐田の 底力 1人
放課後児童クラブ条例の一部改正		○	○	○	×	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

2月定例会の予定

（2月14日～3月24日）

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10	11	12	13	14 本会議 (議案上程)	15
16	17 本会議 (議案上程)	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28 本会議 (議案質疑)	3/1
2	3 本会議 (議案質疑)	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 予算決算委員会 (採決)	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 本会議 (採決)	25	26	27	28	29

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

一般質問を行う議員の順番や内容につきましては、2月21日(金)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田北高等学校 1年生

芸術部 さいとう ほまれ
齊藤 穂希 さん

駅前のイルミネーションとシンボルのクスノキが輝く夜、一人でカメラを構えました。「恋人の聖地」と思われる場所に少し寂しさを覚えつつも、温かな光に包まれた景色を見ていると、未来への小さな期待が心に灯りました。いつかこの場所に大切な人と来ることができる日を夢見て撮影しました。



市民の皆様へ市議会の活動を「わかりやすく」理解していただき、多くの情報が正確に伝わることを目標に発行してきました。

一人一人の声を大切に、将来の「いわた」を、市民と議会が共に力を併せて進めていけるような紙面を目指して、引き続き精進して参ります。

(永田隆幸)

【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸 ■副委員長：加藤公人
- 委員：山下千賀子、江塚学、小柳貴臣、松野正比呂、高梨俊弘

次回は5月1日発行予定です。